

No.583

2023.4.20

KINZOKU DANCHI NEWS Since 1974

# 金属団地ニュース

60th



岐阜県金属工業団地協同組合





### 一般社員コミュニケーション研修の開催

3月8日(水) 13時30分より組合研修センター 3階集会室にて伏屋社会保険労務士事務所 吉井元子氏を講師としてお招きして、「一般社員コミュニケーション研修～職場でのコミュニケーションUPを目指して～」を開催し、団地内企業6社34名の従業員に参加していただきました。

グループに分かれエゴグラム(交流分析)やストローク等、「聴く」や「話す」といったことも相手に与える印象が大きく違う事を体感、信頼関係を築くには相手の理解から入るといったことを学びました。終始賑やかで他社従業員とも交流を持つことができ有意義な研修会となりました。



### 消防訓練実施

3月15日(水) 正午より金属団地自衛消防隊による消防訓練を(株)共和鋳造所 工場内の防火水槽を使い実施いたしました。消防車の出動から放水にいたるまで、一つひとつの手順を小隊ごとに着実に行い、有事の際にも確実に迅速に対応できるよう、各隊員真剣な面持ちで訓練にあたり防災意識を向上いたしました。



### 3月度月例会開催

3月20日(月) 正午より組合研修センター 3階集会室にて3月度月例会を開催しました。

岐阜県中小企業総合人材確保センター 岐阜県プロフェッショナル人材戦略拠点 統括サブマネージャー 酒井則雄氏をお招きし『人材を取り巻く現状と、プロフェッショナル人材採用に関し』と題してご講演いただきました。

プロフェッショナル人材とは新たな商品・サービスの開発、販路開拓、生産性向上などの取り組みを通じて企業の成長戦略を具現化していく人材です。

プロ人材の登用ポイントは経営ビジョンや課題について社員全員が共有していること等さまざまなアドバイスをいただきました。人材不足や企業の成長にはプロ人材の活用も有効な手立てかもしれません。





## 春一番! (芸へじゃないよ)

大変暖かくなってきました。WBCの熱気が、そのまま春の訪れと桜の開花を齎した様な今日この頃を過ごしています。WBCの戦士も各球団に戻り、新しいシーズンに向けて堅実に進み始めています。我々も心機一転、新しい事に挑戦したいという気持ちが湧いてきました。

話は全く変わるのですが、コロナ感染症が5類に変更される事により行動範囲が広がってきました。先日、久しぶりに東京に遊びに行きました。グリーン車両は敷居が高く、指定席を予約していきしました。乗車率は80%、やはり3列シートの真ん中は敬遠されるらしい。今回気になったのは、車中でのマスクをどの様に捉えているのか? 実際、新幹線の車中ではマスクを外している人は10%弱でした。私はというと、マスクをしていると老眼鏡が曇る為、鼻だけ出している酔っぱらいの様な中途半端な付け方をし、自分の意志の弱さを痛感いたしました。そして、東京駅からは山手線に乗り換えたのですが、マスクを外している人は、多くて2～3人程度です。海外のニュース報道では、解禁とともに一斉にマスクを外す光景と異なり、慎重にじわじわとマスクがフェードアウトして行く事を感じました。

今回の目的は、私も今年還暦を迎えます。人間60歳を超えると何かあってもおかしくはありません。先輩方からよく聞きました。「50歳を超えるとだんだんドライバーが飛ばなくなり、60歳付近で人間ドッグで引っ掛かり始める。そうしたら我々の仲間入りだ。」簡単に仲間引きずり込まないでほしい。そう考えると3年以上会っていない友人たちは如何しているのか気になり、久しぶりに集う事としました。しかし、急遽であった為、3名での質素な夜会となりました。

A君は卒論の共同研究者で、彼曰く、“俺は運だけの男”である。私もそう思う。彼は、教授から推薦された企業を3ヶ月で退社し、池袋の雑居ビルの1フロアの研究試薬液の会社に転職したのですが、その会社が数年後、株式上場し買わされていた株が大化けした事により一財産を築きました。上場企業の取締役技術部長を歴任し、現在は別会社でパート社員、でも役職だけは技術顧問に収まっています。

B君は、大手企業のティア1企業の技術として採用され、タイに長く駐在し現地法人の社長を歴任し帰国しましたが人間関係に悩まされ、自ら中国赴任を志願し、現在は海外を行き来し元気に頑張っています。学生時代は真面目で良い男も歳月は非情なもので、頭は薄くなり、お腹がふくらした普通なおじさんに仕上がっていました。

私としては、60歳・還暦を祝って、パーッと行こうと思っていましたが、現実には厳しく自分の在り方を考えさせられる答えが返ってきました。一般的にサラリーマンは55歳～60歳で定年を迎え、65歳までに退職を迎えます。晩婚化が進む中、60歳では大学生を抱える家庭も多い為、余裕が有る訳ではない事が判りました。そして、私の周りでも銀行の支店長は、何時しか年下となり、お世話になった方々は引退し、取引先の資材部長を何人見送った事でしょう。オーナー経営者は、会社が存続する以上、その場に居座ることは出来ませんが自ら山を降りる覚悟を決める時期が近づいてきた事を感じました。

今回のWBCでは、侍ジャパンの雄姿に大きな感動と感銘を頂きました。しかし、大谷選手にも何時しか引退の時期は必ず来ます。そして、新たなる挑戦がスタートします。我々も再スタートの準備に入ったのかもしれませんが、人生一度きり、体裁抜きで最後の最後まで楽しみたいと思います。

私たちは、「走れ、高橋」でしたが、今の子は「投げろ、大谷」なのでしょう。

タンパク



### 株式会社チカタン 前代表取締役 山本隆一が以前より病氣療養中のところ 令和5年3月8日に享年88歳にて永眠いたしました

山本隆一は生前、当団地ニュースの編集委員長を務めたということで、今回、非情にも喪中である私にその訃報記事を書けという編集委員長の指令が下りました。委員長の団地ニュースへの並々ならぬ情熱に心を打たれたのと、父も自分の記事で団地ニュースのページが埋まるのであれば、内容がどうあれきっと喜んでくれることだろうと思い筆を取ることにいたしました。

肝臓がん、肺がん、肺気腫、心不全等々いくつもの爆弾を抱えながらの闘病生活でしたが、脳出血の手術後、退院してきてからの最期の2週間は本当にバタバタでした。初めての介護、自宅でのリハビリ、ベッドや車椅子、手摺りやスロープが運び込まれ、ケアマネさん、看護師さん、療法士さん達が毎日入れ替わり家にやって来る。リハビリが始まると初めは順調に見えたが、血中酸素が下がり数日で中止。原因不明の意識喪失が何度か起こり再入院。入所する施設や介護認定等いろいろ段取りしている矢先、2回目の脳出血で意識がなくなり、翌日に息を引き取りました。せっちな父でしたが、その最期もなかなかのせっちなものでした。

「先生、私は自分の人生に思い残すことは無い、やりたい事はやった 延命措置は必要ない。」

万が一の時の対応についての意思を、医師が本人に確認した際に父が発した言葉です。でもそれはけしてあきらめたという意味ではなく、悪あがきはせず、やれるだけの治療は行うというものでした。その言葉通り初めの出血後も、ろれつが回らない口調で手術の事やリハビリの事を熱心に話しているのを見ると、生にしがみつくのではなく、真摯に生を求めていく誠実さ、力強さのようなものを感じました。将棋で言えば、どんなに不利な状況でも、たやすく投了せず残された持ち時間一杯まで考慮する、というような姿勢でした。

自分も人生の最期にあんなセリフが言えるように、日々生きていかねば、と感じた次第です。

団地ニュースでは数多くの問題作をばらまき、ユニークな内容ではあるものの、風刺や批判的な内容もあり、気分を害された方もたくさんいらしたのではないかと思います。困ったことに本人は全く気にしている様子がありませんでしたので、この場を借りて私が謝罪させていただきます。逆に楽しみにされていた極少数の方には誠に残念ではありますが、次回作も秘蔵未公開作もございません。過去の出版物をもう一度、いえ何度でも御覧ください。

掲載の遺影は皆様も御覧になられたことがあるかもしれませんが、金属団地50周年記念誌の企業紹介ページに使用した写真です。代表者の写真を撮ってくれというので、会社の前で私が撮った写真です。写真を撮ろうとすると片手を挙げるので、いや一手は入れない方がいいでしょう、と言うと「よっ！みんな！」という感じで撮ってくれ、との希望で撮った一枚です。本人がとても気に入っていた一枚でした。ほけてはいますが、くしくも当社の表札と父が開発した製品が写り込んでいるので、背景はそのまま使用しました。10年経って遺影にしてみると不思議なもので「じゃあ、サイナラ！」って言ってるように見えてきました。

株式会社 チカタン 代表取締役 山本 俊二







### 青年部親睦旅行

2月18日(土)、19日(日)の日程で、青年部親睦旅行に行ってまいりました。総勢11名(うち6名は17日の夜から前乗り)。青年部の旅行は三年ぶりの開催となりました。今年はあらゆるものが「三年ぶり」に行われているので、早くも流行語大賞候補なのではと思っております。

さて、行き先は食い倒れの街・大阪。大阪と言えばたこ焼き、お好み焼き、串カツ・・・しかし我ら若さ溢れる青年部、のんびり食べ歩きの旅などいたしません。三年分のうっ憤を晴らすため、ユニバーサルスタジオジャパンで遊び尽くすんや！ NO LIMIT!!



前乗り組の6人は、仕事を終えてから大阪へと向かい、心斎橋のホテルにて次の日に備え早めの休息。



翌日は7時にロビーに集合し、いざ出発。一足先にパークインして、当日岐阜から来るメンバーを待つ計画です。8時前には到着したのですがこの時点ですでにゲート前には黒山の人だかり。このあと遅れてやって来る当日組がスムーズに入場できるか心配しつつ、開園直後の待機列が少ないうちにミニオンズのアトラクションに搭乗。これは準備体操のようなもの。

続いてUSJ最恐の絶叫マシーン、フライングダイナソーに挑戦。いわゆるジェットコースターですが、座るのではなく手足ブラブラの腹ばいの状態で高速宙返りや旋回を繰り返します。USJ屈指の人気アトラクションで、



混雑時には待機列が3時間を超えることも。ただ今回は「エクスプレスパス」を購入してあるため、長時間待つ必要はありません。乗る前からギブアップしたY氏とA氏を地上に残し、いざ大空の旅へ！・・・爽快すぎて言葉になりません。皆さんぜひ一度体験してみてください。

このあたりで当日組が到着。全員でスパイダーマンに搭乗してから、いよいよ一昨年オープンしたばかりの新エリア「スーパーニンテンドーワールド」へ。Here We Go!

いわゆる「スーパーマリオ」をモチーフとしたエリアですが、作り込みがすごい。マリオの世界に入ったようです。みんなで被り物を買って、ますますテンションが上がります。ここでは最新アトラクション「マリオカート」を体験したのち、しばしお土産と昼食タイム。この日は新しいイベントが始まった翌日の土曜日ということもあってかなりの混雑で、昼食にありつくのも大変でした。

昼食後はウォーターワールドの水上ショーを鑑賞。いまだに声出し禁止のため盛り上がりには欠けました。続いてジュラシックパークで記念写真。青年部は全員男性のはずですが、女子張りに怖がっている人が二名いますね・・・カワイイ。





その後は各自エクスプレスパスを使用してジョーズやハリウッドドリームザライドを楽しみ、ハリポッターエリアで再集合。定番のバタービールを頂きました。



さすがにこのあたりでキツくなってきたのでみなさん一休み、しかしまだ元気な方が3人いて、なんとここでフライングダイナソーおかわり。「ここでしか体験できない」「2回も乗れるチャンスなんてそうそうない」。そりゃそうですけど。おいくつですか？絶叫マシンへっちらの3人は、この日2回目ということでカメラ目線もバッチリ。



最後にみんなで向かったのは、期間限定アトラクション「モンスターハンター：XR WALK」。一人一人がヘッドギアをつけて仮想映像を見ながらモンスターと戦うVRアトラクションです。最近はVR機器を買えば家庭でもVR体験はできますが、このアトラクションでは本体であるコンピュータを背中に背負っているの、実際に歩き回ることができるのが特徴。また、360度の視界も確保されているため見渡す限りゲームの世界、一緒に戦う友達が隣で巨大な剣を振るう雄姿まで見ることができます。あまりにリアルすぎて、足を踏み外しそうな崖を歩く場面では恐怖のあまり叫んだり、座り込みそうになってしまう人も。

ヒトが目で見ても脳で知覚している物は全て電気信号です。つまりVRもどんどんリアルになっていけば、いつかは現実との区別がつかないようなシロモノも開発可能でしょう。そんなSF映画の世界が垣間見えた、貴重な最先端技術の体験でした。





こうして丸一日、学生も顔負けにほぼすべてのアトラクションを遊び尽くし、そのままホテルでバタンキュー・・・とはならないのが青年部！少し小休止をすればまるで昼寝の後の幼稚園児のように復活。元気にミナミの街で大阪最後の夜を過ごしました。

二日目はあいにくの雨となりましたが、午前中の行程はなんばグランド花月で吉本新喜劇を鑑賞だったので特に影響はありません。この日の出演者は、オール阪神巨人や西川きよしといった大御所から、テレビで見かけない日はないフットボールアワー、インディアンスのような近年飛躍したコンビまで幅広いラインナップ。「この人の漫才初めて見た」「意外と背高いな」「テレビで見るより面白い」など、劇場鑑賞ならではの雰囲気を各自楽しんでいました。



この日は満席でしたが、コロナ2019以降は営業的に相当厳しい時もあったようで、「客が10人しかいなかった」など、何人かの芸人さんが引き合いに出してネタにしていました。今だからネタにできますが、本当に苦しかったことと思います。



終演後は、千日前のお好み焼きを食べたかったのですが有名店はどこも1時間以上の列があったため、全員での昼食は諦めここでいったん解散。各自新世界まで足を延ばして念願の串カツをほおぼったり、たこ焼きをのんびり食べたり、名物のチーズケーキをお土産に買ったりしながら、大阪を最後まで楽しみました。

三年ぶりの青年部旅行は、青年部らしくとてもパワフルな旅行になったと思います。冒頭にも書きましたが今年はいろんなものが3年ぶりに行われますが、〇〇年ぶりは今年限りにして、今まで当たり前だった行事を当たり前に行う社会になることを願ってやみません。







### 感謝

(株)ミヤナガ 宮永 恒治

休日とは、休みの日のこと。

学生時代は毎日が休日みたいなもので、天気図を見ながら西高東低の気圧配置（北海道の北西に低気圧）になると夜明け前に海に行き、日が昇る前、まだ薄暗い中、沖に向かってパドルし、サーフィンしていた。

学校が海の近くということもあり、良い波の時は（授業をサボって）一日中。ほとんどが9時頃には風が入り、波が崩れる為、海から上がり遅れて授業に行っていた。

そんな海（波乗り）の生活から卒業し、海のない県、岐阜に戻ってくると、休日しかサーフィンすることが出来ず、週1回の休みに運よく波がヒットするかどうかは現場（海）に行ってみないと分からなかった。そんなとっても貴重な休みの日なのに、伊良湖、静岡、御前崎などに長時間ドライブしたあと、全く波がない穏やかな海を見て、愕然とし、海に入ることなく帰ることも多かった。いつしか海に行くことも遠のき、それなら確実に（休日に）できるゴルフにしよう！！ってことで、ゴルフをすることになった。

※実はゴルフを始めたのは意外と早かった。笑

上手くはないけど、季節が良いときは、気持ち良くプレー出来る。しかし、やっぱり冬は寒い。手もかじかむのでゴルフはお休みし、サーフィンのオフトレとして、当時スノーサーフィンと呼ばれていたスノーボードを始めることにした。

始めたスノーボードは画期的だった。リフト券さえ買えば、サーフィンみたいに沖に向かって苦しい思いでパドルしなくて済むし、ワンマンワンウェイブ（ひとつの波にはひとりしか乗ってはいけない）ではないので、いつでもどこからでも、誰でも、何回でも滑ってこられる。

※人によっては転がりながらだけど。笑

そして、少し今までとは違う感覚も覚えた。

今まで自分のしてきたスポーツはどれも結果・技術が感覚的なもので、サッカーでは勝ち負けはあるもののチームプレー。個人の上手い下手は抽象的というか主観的なものだった。サーフィンもその上手さは決して客観的ではなく、どちらかというと今まではっきりさせず曖昧にしてきたことで自分自身を擁護してきたのかもしれない。でも、逆に確かなもの（資格など）があれば全てははっきりする。上手いのか下手なのか。

そう、スノーボードには、資格があった。

その為に雪のある11月中旬～5月のゴールデンウィークまで（1年の約半分ほど）、毎週の休みは雪上（ゲレンデ）に居た。

最初はサーフィンのオフトレにと、軽いノリで始めたスノーボードだったが、いつの間にかインストラクター、検定員、パトロール、セッター、旗門審判員、タビュレーター（計時計算員）などの資格を取るようになった。

あれから30年。

毎週の休日は、雪上にボードではなく、芝上でゴルフクラブ。ティーグラウンドにドライバー。

※僕はアイアンだけど。笑

1年の半分ではなく、ほぼ休日全てに、打球練習場かゴルフ場のどちらかに居ることとなった。

そう、ゴルフには、ハンデキャップがあった。（資格は無いけど）

現在は、毎週の休日に好きなことをさせて頂けるこの環境に感謝しつつ、今年で結婚35年を迎える私の一番の理解者である妻には、感謝してもしきれない。

※老後の面倒は見てあげるからねえ～。逆かしらんけど？（知らんけど。）笑

いつもありがとう！

今日もとても良い休日だった。





## 2022年度新規高卒採用戦線に異常あり! その2

～県内外の多くの企業で新規高卒内定数が採用予定数に達せず～

先月号では、2022年度の新規高卒採用戦線において、県内外の中小企業だけではなく大手企業においても、内定数が採用予定数に達していない企業が今までにない多さであった状況について、以下の7項目を要因に挙げ、1から4について私見を述べさせていただきました。

- 1 少子化の進行(中学校卒業予定者数の減少)
- 2 専門高校の定員減(⇒中学校卒業予定者数の減少が起因)
- 3 工業系高校の“進学率”の上昇
- 4 工業系高校の“県外就職率”の上昇
- 5 優秀な県内工業系高校生の“愛知県への流出”の増加
- 6 工業系高校“求人倍率の異常な上昇”
- 7 愛知県の企業への“九州地区工業系高校”からの就職者数の減少

今月は、5から7の要因についての分析結果を述べさせていただきます。

### 5 優秀な工業系高校生の“愛知県への就職流出”の増加 について

表1及び表2は、令和2年度及び令和3年度の各務原市内企業への就職者が多い県内工業系4高校(岐阜工高・岐南工高・関商工高・高山工高)の“愛知県企業内学園保有企業への就職状況”です。

No	企業名	学園名	岐阜工	岐南工	高山工	関商工	合計	
1	愛三工業(株)	愛三学園					0	
2	アイシン・イー・アイ(株)	アイシン・イー・アイ高等技能学園					0	
※3	アイシン・エイ・ダブリュ(株)	アイシン・エイ・ダブリュ高等技能学園					—	
4	(株)アイシン ※経営統合・社名変更	アイシン高等学園	1	1	1	1	4	
5	愛知製鋼(株)	※高等職業訓練校	1			2	3	
6	(株)アドビックス	技能養成訓練生	1			1	2	
7	(株)ジェイテクト	ジェイテクト高等学園	1		1		2	
8	新日鐵住金(株)名古屋製鐵所	新日鐵住金学園					0	
9	大同特殊鋼(株)	技術学園					0	
10	中央発條(株)	中発技能学園	1				1	
11	(株)デンソー	デンソー工業学園(短期大学校・高専)	3	1			4	
※12	(株)トーエネック(岐阜支店含む)	教育センター	3	2	1	1	7	
13	(株)東海理化電機製作所	東海理化学園	2			1	3	
14	トヨタ自動車(株)	トヨタ工業学園			2	2	4	
15	トヨタ車体(株)	トヨタ車体技術学園	1			2	3	
16	豊田自動織機(株)	技能専修学園	1	1	1	1	4	
17	トヨタ紡織(株)	トヨタ紡織学園	1	1			2	
18	(株)日立製作所中部支社	日立工業専門学院					0	
19	豊和工業(株)	※高等職業訓練校	1				1	
※青文字は「トヨタ系企業」 ※3は(株)アイシンに経営統合(2021.4)			合計	17	6	6	11	40

表1 令和2年度県内工業系4高校の愛知県企業内学園保有企業への就職状況

愛知県には、厚生労働省認可の“専門学校”である企業内学園を保有する企業がトヨタ自動車(株)のグループ企業を主に19社あります。※アイシン・エイ・ダブリュ(株)と(株)アイシン精機の合併により(株)アイシンとなったため学園も統合。

企業内学園とは、入社後1年間若しくは2年間企業内の研修機関(学園・訓練校等)に所属し、専門技術の習得から教養科目の学びまでを行う教育機関です。基本的には“全寮制”で企業内学園在籍中も給料・ボーナス等は支給されます。当然ですが、授業料は無料です。卒業後は正社員として、主に工場の生産設備保全部門や技術開発部門、生産技術部門等に配属され、一般入社の高卒技能職社員とは異なった高度な技能業務



に従事することがほとんどです。また、学園で優秀な成績を修めた卒業生は“技能五輪出場を目指して専門の訓練を継続”しています。技能五輪出場後は「指導員」として学園に所属する人たちもいます。

No	企業名	学園名	岐阜工	岐阜南工	高山工	関商工	合計	
1	愛三工業(株)	愛三学園					0	
2	アイシン・エー・アイ(株)	アイシン・エー・アイ高等技能学園					0	
※3	アイシン・エイ・ダブリュ(株)	アイシン・エイ・ダブリュ高等技能学園					—	
4	(株)アイシン ※統合・社名変更	アイシン高等学園	1	1	1	1	4	
5	愛知製鋼(株)	※高等職業訓練校	1			1	2	
6	(株)アドビックス	技能養成訓練生	1				1	
7	(株)ジェイテクト	ジェイテクト高等学園		1	1		2	
8	新日鐵住金(株)名古屋製鐵所	新日鐵住金学園					0	
9	大同特殊鋼(株)	技術学園	1		2	1	4	
10	中央発條(株)	中発技能学園					0	
11	(株)デンソー	デンソー工業学園(短期大学校・高専)	3	1	1	1	6	
※12	(株)トーエネック(岐阜支店含む)	教育センター	1	2	1	2	6	
13	(株)東海理化電機製作所	東海理化学園	1			1	2	
14	トヨタ自動車(株)	トヨタ工業学園			4	5	9	
15	トヨタ車体(株)	トヨタ車体技術学園	2			1	3	
16	豊田自動織機(株)	技能専修学園	3	1	1	1	6	
17	トヨタ紡織(株)	トヨタ紡織学園	1				1	
18	(株)日立製作所中部支社	日立工業専門学院					0	
19	豊和工業(株)	※高等職業訓練校					0	
※青文字は「トヨタ系企業」 ※3は(株)アイシンに経営統合(2021.4)			合計	15	6	11	14	46

表2 令和3年度県内工業系4高校の愛知県企業内学園保有企業への就職状況

岐阜県の工業系高校からも、表1及び表2の様に毎年多くの企業内学園保有企業への就職者がいます。令和2年度には岐阜工高・岐阜南工高・高山工高・関商工高4校で40人、令和3年度には46人が就職しています。今年度は、各企業へ複数名の応募があったと各校の進路支援主事や学科主任の先生たちからお聞きしているので、例年よりも多くの生徒が就職をするのではと予想しています。

企業内学園保有企業を受験する生徒たちは、それぞれの専門分野の学習において優秀な成績を修めかつ高度な技術を身に付け、技能検定等で高度な資格を保有した生徒たちです。県内工業系高校のトップクラスが愛知県の企業内学園保有企業に多く就職流出しています。この流れを止めるには、県内企業がひとつになって岐阜県商工労働部の支援の下で高卒社員の研修制度(学園)を創設する以外にはないと考えています。県内にも飛騨産業(株)が創設した『飛騨職人学舎』の例があります。優秀な高校生の愛知県への就職による流出を防止するためにも、県内企業の経営者の皆様や行政等関係機関の皆様のご英断に期待をする所です。県内には1社で企業内学園を創設する体力のある企業は多くありません。是非“チーム・ぎふ”で取り組み頂きたいものです。

愛知県の企業内学園保有企業へは、九州・四国地区の工業系高校からも毎年多くの優秀な若者が入社しています。少子化の中で、九州や四国地区等からの愛知県への就職の流れを岐阜県に誘導するためにも、高卒者のための教育・研修機関(学園)は必須のものだと思います。

## 6 工業系高校の求人倍率の異常な上昇 について

図1は、各務原市近隣工業系高校の平成25年度から令和3年度までの求人倍率の年度推移です。令和4年度分については、年度末までは各校で求人票の受付を行っていますのでデータの反映はありません。

平成25年度には各高校とも4倍から5倍であった求人倍率が上昇を続け令和元年度には11倍から18倍と異常な高さになっていました。コロナ禍の影響により令和2年度には8倍から15倍と若干下がりましたが、令和3年度には令和元年度並みに回復しました。今年度は、7月末時点での各工業系高校からの情報では、各校共に令和元年度を上回った状況となっており、最終的に過去最高値になるのではとの見通しでした。今年度の求人倍率が異常な上昇になったのは、①コロナ禍からの回復による求人企業の増加 ②各学科の定員



減による3年生在籍者数の減少 ③進学希望者の増加 が挙げられます。また、この異常な求人倍率の上昇が、今年度の新規高卒採用戦線で各企業が非常にご苦勞をされている一番の要因だと判断しています。

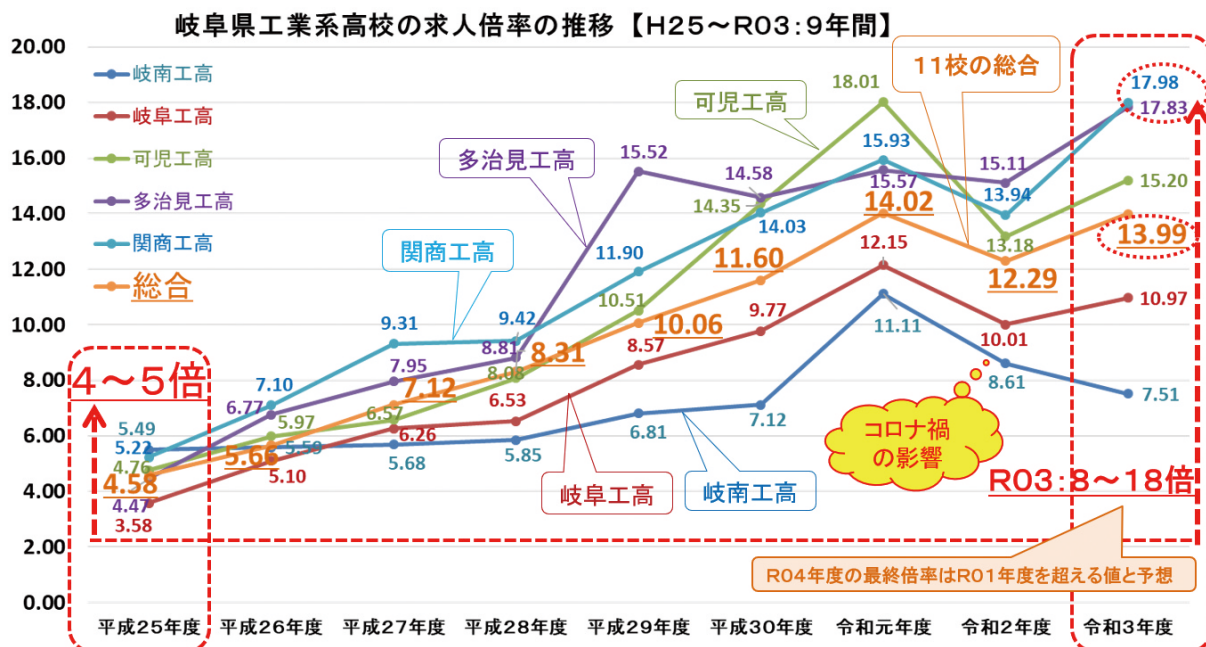


図1 各務原市近隣工業系高校の求人倍率の年度推移

県内工業系高校の令和3年度の総合倍率は約14倍でした。この数値の意味は、「求人票を毎年出し続けて14年に1回応募があったらよし。」です。少子化の中で、新規高卒採用は益々厳しさを増していきませんが、企業の採用担当者の皆様には決して諦めることなく求人票の提出を継続して頂きたいと思います。このような異常な求人倍率下にあっても毎年新規高卒の内定獲得をされている企業も多くあります。自社の求人条件を見直され、他社の成功事例を参考にされて、今度は我が社の番だとの強い信念をもって新規高卒採用活動を継続して頂ければと思います。

## 7 愛知県の企業への“九州地区工業系高校からの就職者数”の減少 について

図2は、愛知県への就職者が多い九州・四国地区工業系30高校の東海地区への高校別就職状況です。この30校については、平成28年に全国の工業系高校600余校の就職状況を調査し、東海地区への就職者が多い地区・高校を選出して訪問・情報収集を行い経過観察してきました。この間の東海地区4県(岐阜県・愛知県・三重県・静岡県)への就職企業数は320社余りに就職者数は4,800人余り、愛知県には280社余り(86%強)に就職者数4,600人余り(95%強)です。岐阜県には就職企業数15社(5%弱)に就職者数80人弱(2%弱)、三重県へは岐阜県より若干多くの就職企業数と就職者数、静岡県へは就職企業数は岐阜県と同等で就職者数はごく僅か(1%未満)でした。

図2は、東海地区への就職率が高い高校順に表示しており、緑の線が過去6～10年間の東海地区への平均就職率で、赤の線が令和3年度の東海地区への就職率です。高知東高校以外の高校では、東海地区への就職率が激減しています。※高知東工高は東海地区への就職者数が例年数名以下。この九州・四国地区の工業系高校からの就職者により愛知県の企業が雇用を支えられてきたといっても過言ではないと思いますが、この愛知県の企業への就職者数の減少が、トヨタグループを中心とした愛知県の企業において新規高卒の採用予定数不足を招いた大きな要因だと分析をしています。

九州地区からの東海地区への就職者数が激減している要因は ①九州各県における高校生の県内就職促進の強化(特に、長崎県・熊本県では顕著) ②九州各県における企業誘致政策の成果(熊本県・長崎県・鹿児島県・佐賀県・大分県等) であると考えています。特に、熊本県では、全ての県立工業高校に“就職支援コーディネーター”が配置され、定期的に熊本県教育委員会の指導の下で研修・成果報告会が行われているようでした。(熊

本工高進路支援主事からの情報提供)

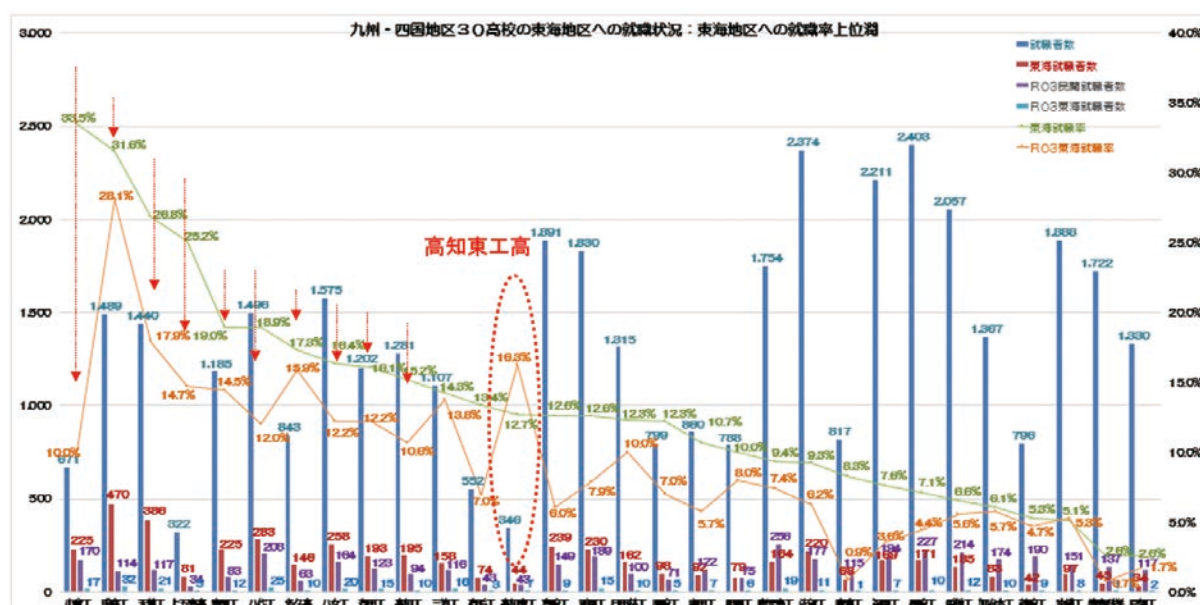


図2 九州・四国地区工業系30高校の東海地区への就職状況：高校別

この九州地区からの東海地区(愛知県)企業への就職者数の激減の影響なのかは判断できませんが、今年の各務原市近隣の工業系高校では例年と比較して“就職試験の一次試験不合格者が異常に少ない”傾向でした。9月末の情報収集では、各高校とも一次試験の不合格者は無しの状況でした。例年は各高校とも1割前後の一次試験不合格者が出るのですが、愛知県の大手企業では一次試験の応募者数が採用予定者数を大幅に下回っており、一次試験で不合格にする余裕がなかったのではと推測しています。この結果、二次試験への応募に期待をしていた市内企業の多くがあて外れになったのではと思います。

このように、九州地区の産業振興政策・工場誘致が愛知県の企業の新規高卒採用活動に大きな影響を与え、その結果、愛知県の企業が岐阜県の工業系高校に求人攻勢をかけて求人倍率が異常に上昇し、愛知県の企業への就職者数が増加、各務原市内企業が非常に厳しい状況下に置かれている、という構図が浮かび上がってきます。

少子化による中学校卒業生数減 ⇒ 中学校卒業生数減による専門高校の定員減 ⇒ 専門高校の定員減による就職希望者数減 ⇒ 就職希望者数の減少による求人倍率の異常な上昇 ⇒ 市内企業の新規高卒内定獲得がますます困難に！ 更に、九州地区の産業振興 ⇒ 九州地区からの東海地区への就職者数の減少 ⇒ 愛知県の企業の新規高卒採用難 ⇒ 愛知県企業の岐阜県の工業系高校への求人攻勢激化 ⇒ 愛知県の企業への就職率の増加 ⇒ 市内企業の新規高卒内定獲得がますます困難に！となることは明白です。

以上のことが、2022年度の新規高卒採用戦線において、県内外の中小企業だけではなく大手企業においても、内定数が採用予定数に達していない企業が今までにない多さであった状況の要因だと分析しました。この傾向は今後も継続し厳しさを増していきます。先月号と今月号の2回にわたって述べさせて頂いたことをご認識頂いて令和5年度の新規高卒採用活動を展開して頂ければと思います。

過去6年間にわたって70回余り金属団地ニュースを通して新規高卒採用等に関する情報を提供させて頂いてきましたが、さすがにネタ切れとなり、この2年間は過去の記事のデータ更新となっていました。年度が代わったこのときが引き際かと感じています。ここでいったん休筆し新たなネタを蓄えるための充電期間としたいと思います。

金属団地の企業及び市内企業、県内企業により多くの高校生たちが就職をしてくれることを祈念して最終稿とさせていただきます。長きにわたってご拝読頂きましてありがとうございます。

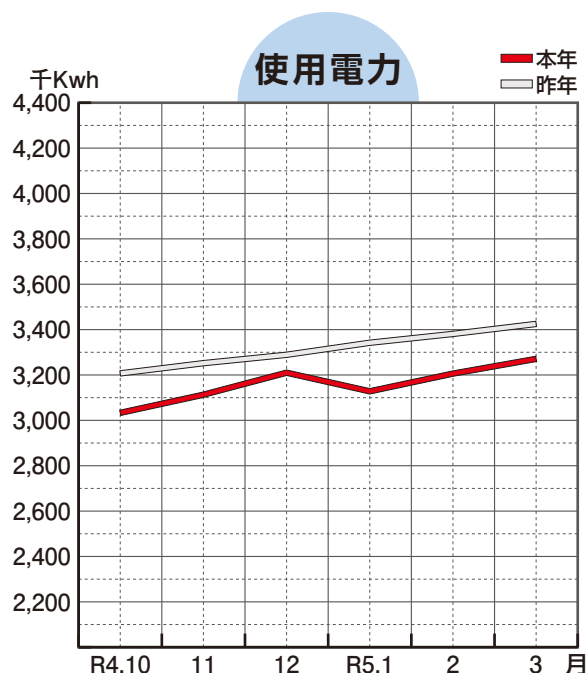
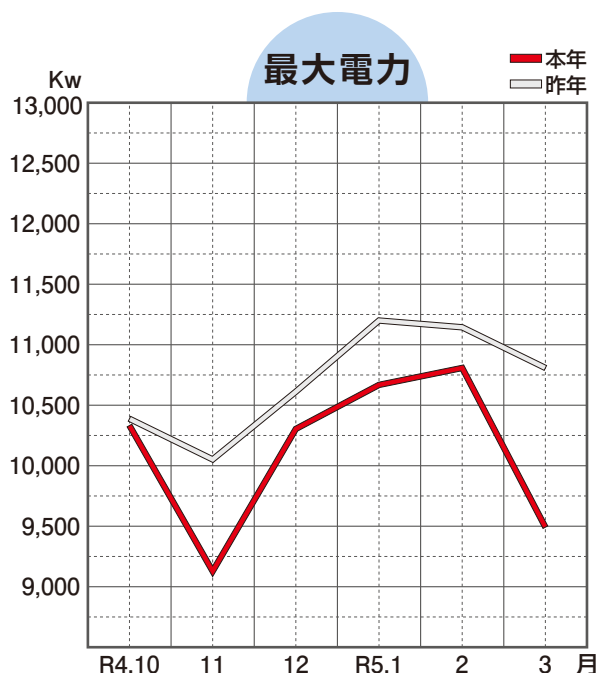
(文責：各務原市産業活力部商工振興課人材確保相談員 長屋千秋)





## お知らせ

### 令和5年3月分電力使用状況



## 電気は正しく使いましょう！！

### 電気の需要の最適化

2023年4月より改正省エネ法の変更された点について、これまでは電気需要の平準化が求められてきました。電力需要の多い昼間から夜間に電気を移行して、電力使用量を一定にしようとしていましたが、今回の改正省エネ法では、平準化ではなく電気需要の最適化が求められます。具体的には

- ・節電・省エネの実施
- ・デマンドコントロールシステムの導入、蓄電池の導入
- ・再エネの電気への切り替え、太陽光発電設備の導入

日本では我慢の省エネで電力不足を乗り越えてきた過去がありますが、これらの取組で緩和されるといいですね。ただし環境についてはコスト度外視で簡単に国が方針を決定することには注意が必要です。電気代高騰や電力不足などが社会問題として表面化しても環境に対しては立ち止まらず振り返らず進んでいくことが脱炭素です。実行する側としては環境だけでなく日本経済の成長戦略として豊かな暮らしに近づいているのかも伝えてもらえると企業の取組姿勢も変わっていくと思います。

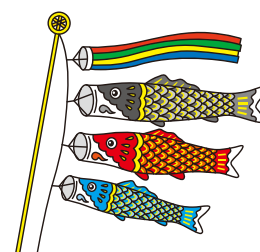
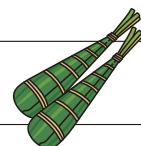
# 行事予定

2023 **4** April

<b>16</b> 日	
<b>17</b> 月	月例会(12:00～) 役員会(13:30～)
<b>18</b> 火	
<b>19</b> 水	
<b>20</b> 木	青年部定時総会&懇親会兼卒業式
<b>21</b> 金	
<b>22</b> 土	青年部/パターゴルフ&BBQ 団地G 『組合休日』
<b>23</b> 日	
<b>24</b> 月	
<b>25</b> 火	
<b>26</b> 水	編集委員会(12:00～)
<b>27</b> 木	金融委員会(12:00～)
<b>28</b> 金	
<b>29</b> 土	『昭和の日』 『組合休日』
<b>30</b> 日	

2023 **5** May

<b>1</b> 月	
<b>2</b> 火	
<b>3</b> 水	『憲法記念日』 『組合休日』
<b>4</b> 木	『みどりの日』 『組合休日』
<b>5</b> 金	『こどもの日』 『組合休日』
<b>6</b> 土	『組合休日』
<b>7</b> 日	
<b>8</b> 月	労務委員会(11:00～) 環境委員会(12:00～)
<b>9</b> 火	業務委員会(11:00～) 総務委員会(12:00～)
<b>10</b> 水	財務委員会(12:00～)
<b>11</b> 木	監査(9:30～)
<b>12</b> 金	役員会(12:00～)
<b>13</b> 土	『組合休日』
<b>14</b> 日	
<b>15</b> 月	



## 5月の行事予定

5月25日 定時総会 (14:30～)  
総会懇親会 (17:30～)

5月27日 総会記念ゴルフ

## 3月度金属団地ゴルフ会

3月25日 グリーンヒル関ゴルフ倶楽部

優勝 小栗國男(信栄ゴム工業) 2位 永田 保(マルエイ) 3位 鳥山 仁(共和鑄造所)

## 共同駐車場空き状況 (2023年4月1日現在)

駐車場	資材置場北	喫茶店北	倉庫南	福祉会館東	C棟南
空き数	0	0	0	1	2
駐車場	研修センター東	研修センター南	研修センター西	溶接組合	三井川東
空き数	0	0	0	0	0

※C棟南はC棟入居者用



# G-MECCA

Gifu Metal Engineering Community Cooperative Association

<http://www.g-mecca.jp>

